

11th Eurasian Radiological Congress 参加報告

宮崎大学医学部病態解析医学講座放射線医学分野

東美菜子

11th Eurasian Radiological Congress (2025年6月26日～28日、カザフスタン)に参加させていただきましたのでご報告させていただきます。

学会初日はオープニングセレモニーと表彰式で始まり、富山先生が名誉会員を授与され、ご講演されました。午後からは渡邊先生が手配してくださった3つの病院を見学させていただきました。日本と違って外来も放射線科の検査室も全く混雑しておらず、放射線科の先生は読影件数が多いとおっしゃってましたが、あまり忙しそうに見えず、検査室にいる医療スタッフの人数も少ないように感じました。CT・MRIともにマルチユースシステムでの造影剤注入がなされていました。カザフスタンでは放射線科医が超音波を担当していて放射線科の主な業務のひとつになっていること、女性の放射線科医が結構多いことが印象的でした。

2日目は、午前中がRSK meet JRS sessionで、富山先生が座長をされ、渡邊先生、福田先生、永谷先生とともに私も講演させていただきました。午後からはAOSOR-RSK conjoint Session on Neuroradiologyのセッションがあり、渡邊先生が座長をされつつご講演されました。若い先生方が講演のスライドをスマホで撮りながら熱心に聴かれている姿が印象的でした。

最終日は、レジデント4人ひとチームによる画像診断のコンペが開催されました。カザフスタン国内の大学7チームでの予選の後、カザフスタン代表と近隣数か国による決勝が行われ、大変盛り上がっていました。とても面白い企画だと思いました。

大会期間中は毎晩パーティーが開催され、歓迎して下さって大変ありがたかったです。海外から来られている方々の中には先日のJRS総会に参加された先生方もおられまして、日本での思い出を楽しそうに話してくださいました。また、日本に行ってみたい、JRS総会に出てみたいという先生方が大変多く、たくさん宣伝してきました。現地の放射線科の若い先生方が海外からの演者のために手厚くアテンドをしてくださり、我々の病院見学に対しても全行程を送迎して下さって、みなさん大変穏やかで優しいお人柄でした。いろいろな国の方々とお話をさせていただいて大変貴重な機会となりました。

カザフスタンの気候は、日中陽射しが強いように感じましたが、湿度が低いので、日陰に入ると快適であり、夕方から夜間は涼しくて長袖を着るくらいでした。Yandex Goというアプリが大変便利で、Uberの機能に交通手段の案内も追加されたような感じです。迎車は概ね5分以内に到着してくれますし、行き先も支払い方法もすでに入力しておりますので、言葉が全く通じなくても問題なかったです。近隣諸国はこのアプリで十分対応可能だそうです。ただし、今後カザフスタンに行かれることがございましたら、日本国内で登録を済ませておかないと現地で使えないようですのでご注意ください。

カザフスタン滞在中、あちこちで建設中のマンションを目にしました。道路や橋も建設中

のところが多く、これから発展していくような勢いを感じました。日本にもまたこの勢いが復活したらいいのにといいながら帰国いたしました。

この度は派遣してくださって誠にありがとうございました。



富山先生の授賞式



RSK meet JRS session



日本の先生方と



新首都のシンボル バイテック



パーティーの催し



カザフ語で“アズマ”



バイテックの球体内